

令和1年度日名条自治会実施の「とんど祭」について

1、「とんど」は、この地方では、明治時代以前から旧正月14日に小正月の予祝行事として行われている伝統行事の一つです。

青竹を束ねて立て、これに1年の護符や門松・しめ飾り・書初めなどを添えて燃やす火祭りです。竹が焼け落ちた火で焼いた餅を食べると、一年間の病気を除くといわれています。

2、「とんど祭」は、日名条自治会規約により「自治会会員の親睦や地域振興を図る行事」として、現在も継続して行われている日名条地区の伝統行事です。

自治会年間計画により、本年度は令和2年(2020年)1月12日(日)に実施します。

3、「とんど祭」は壮青年会と壮青年会協力班が企画運営を担当します。本年度の協力班は11班です。

しかし、青竹を伐採して、運搬し組み立てる作業には、協力班以外の多くの若い自治会会員の力強い協力がなくては実行できません。自主的な協力をお願いします。

4、「とんど祭」を行う場所は、杵原川東岸と正原川の合流地点北側の休耕田(4班佐々木様所有)です。

5、「とんど祭」に必要な青竹の伐採場所と資材その他の入手方法は以下の通りです。(平成30年参考)

①青竹の伐採 <<貴船神社下法面竹藪+天野竹藪>>

中央芯柱(約5m強)1本+外囲み芯柱(5m)4本

+外枠補強用竹(2m強)4本+対角線補強用竹(3m)2本

+細目の枝付竹(約3m)約30本+太目の竹(2m~3m)約20本~30本

②餅焼き用竹竿(2m)30本~40本 <<神社下竹藪>>

③竹枝笹の束・枯草の束作り(15束~20束) <<神社下空き地+天野竹藪>>

④わら縄1巻、飾り用紙テープ <<購入>>

⑤木杭(1m)4~5本 <<購入>>

⑥笹酒沸かし用竹(約1.5m)3本

⑦ぐい呑み用竹猪口 約150個

⑧安全対策用トラロープ(既存)、張り紙用女竹杭20本、張り紙用ラミネート <<購入>>

⑨つまみ、お茶、ジュース、甘酒用砂糖、紙コップ <<協力班11班に購入依頼>>

(昨年の事例:豆菓子ミックス6袋・裂きイカ2袋・エリーゼ2袋・アーモンドチョコ3袋・ミニサラダ3袋・雪の宿3袋・パイの実3袋・お茶202本・みかん10袋・子供用飲み物100個・砂糖5kg)

⑩搬送用4tトラック使用 <<桂氏に使用依頼>>、ゴミ搬送用軽トラ使用 <<中原氏>>

⑪会場使用の謝礼、搬送用車両使用の謝礼

6、青竹の伐採→笹枝・枯草束作り→搬送→組み立て [予定] [平成30年を参考] ()内は去年の人員数

[実施日]、 [場所] [作業内容]

①12月15日(日) 天野竹藪の入り口 13:30~ 枯草刈り・枯草束づくり(7人)

②1月8日(水) 天野・神社下竹藪 枯草・笹の束「とんど」会場まで運搬(3名)

③1月10日(金) 午前/県広北側竹藪 酒器竹猪口・餅焼き用竹竿作り(4名)、午後/資材移動

④1月11日(土) 8:30集会所集合し神社下と天野の竹藪の竹の伐採・移動(4tトラック・人力にて「とんど」場所まで運搬及び笹枝束作り) 会場の溝など危険な場所にトラロープ張り。

⑤1月12日(日) 8:30~組み立て

14:00 点火《点火後は自治会員の親交を兼ねた親睦会で盛り上げる》

⑦1月13日(月) 8:30 ごみ処理・金属片分別除去・整地(ゴミ搬送軽トラ)

※以上のとんど準備の内容と日程は、準備の進捗によって若干変更することがあります。

7、④⑤の作業=自治会員参加者有志で実行、①③()の作業=壮青年会・協力班有志で実行

※以上のとんど準備の内容と日程は、準備の進捗によって若干変更することがあります。

有志